

信濃おおまち Energy & Mobility 構想

～水が生まれ、水と創るまち～

代表提案者

長野県大町市

当市は国内随一の豊富な水資源を背景に、「創蓄省エネルギー」の実績・ポテンシャルを有している。本構想においては、その地域特性と多分野に亘る先進技術を掛け合わせ、主に市内の中山間地域の生活支援、新たな観光資源の開発といった市としての課題解決にチャレンジしていくもの。

■課題解決のポイント

- ・ 地域を支える拠点の形成
- ・ 生活を支えるモビリティの強化

■課題解決のポイント

- ・ 他地域にない魅力的な観光プログラムの形成
- ・ ホスピタリティの高い観光客へのサービス機能の提供

LP1: 道の駅ぽかぽかランド美麻のスマート型小さな拠点化プロジェクト

- ・ 有効活用が課題となっている市所有の道の駅施設を有効活用し「地域を生活や非常時の際からも支えられる小さな拠点」、「観光振興拠点」の2つの視点からリノベーションしていく。



活用
電力供給 (自己託送)

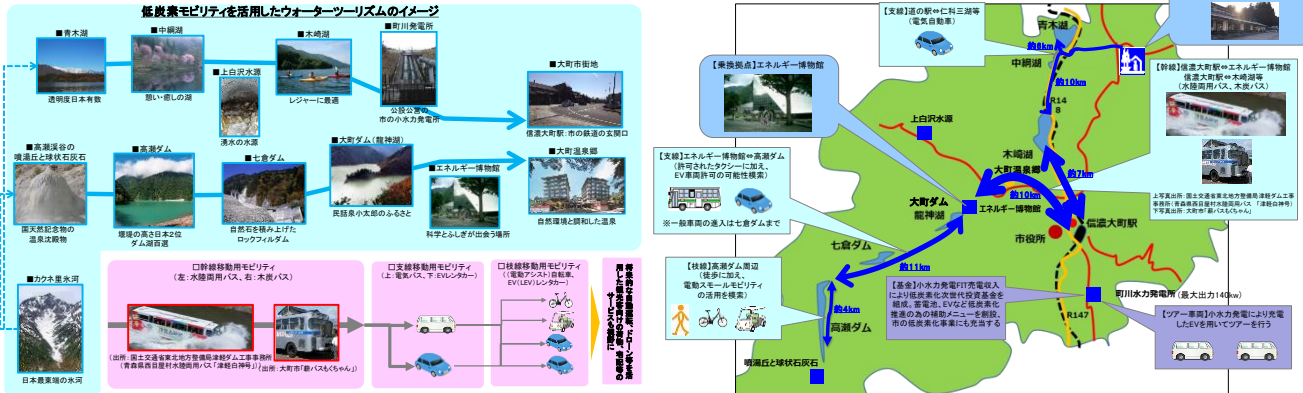
■地域の再エネ関連資源



市内太陽光発電技術実証実験場 (融雪技術)

LP2: 低炭素モビリティを活用した大町ウォーターツーリズム推進プロジェクト

- ・ 大町が誇る豊富な「水」をテーマにし、クリーンでクリアな水を五感で感じられるスポットを複数提案。それらを巡る「ウォーターツーリズム」を提唱。



活用
電力供給

将来的な
展開も視野に
アグリゲイターサービスの



市内水力発電施設 (町川発電所: 最大出力140kw)

↑ FIT期間中は売電収入の一部を基金化しハード整備等に充当も (FIT終了後は直接利用、自己託送を検討)